

2019NT内定選手の保護者は、選考会終了後下記ミーティングを行います。事前にご案内します。

ナショナルチーム内定ミーティング資料(事前案内)

1. ナショナルチームの認定

- 1) 最終選考会で内定した選手は、NT 合宿(2019.4.27-29 蒲郡海陽ヨットハーバー)の参加が必須
- 2) 選手は、NT 合宿前までに 2019 年度の JSAF・JODA に登録完了(手続き)が必須。
NT 役員は、JSAF・JODA(ホースタ)に登録要。NT 合宿までに役員決定し JODA へ書類提出。
- 3) 選手、役員はナショナルチームにふさわしいかどうかを JODA が判断し、NT 合宿終了後に認定
上記を満たさなかった場合、認定の保留、取消し等を行います。

2. ミーティング内容

1) プレエントリーの進捗状況と引継

① 1st エントリー費用の精算

・2019/2/22 現在該当チーム:ワールドチーム。JODA にてエントリー。

今後の大会側との手続きはチームで対応。2次エントリー期限確認とエントリー手続き開始

ワールドチーム 2nd エントリーは 4/1 となっています。早急なエントリー手続きをお願いします。

② JODA が立て替えたプレエントリー費の返金 **期限●月●日**

世界選手権:¥●円 ヨーロッパ選手権:¥●円 アジアオセアニア選手権:¥●円

●●銀行 店番号 ●● 支店名 ●●

口座番号 普通 ●● 口座名 日本オブティミストディンギー協会

③ 各選手権大会の NOR を確認し、各チームで手続

2) チーム打合せ(担当決め)

- ① 各自連絡先の交換
- ② チーム役員(コーチ・監督・国代表)・現地同行サポーター
- ③ 担当者決定:大会本部連絡・JODA への書類提出(別紙へ記入)・会計(共通口座開設)・HP 開設・ユニフォーム
- ④ チーム練習の検討
- ⑤ 大会出発日等スケジュールの調整
- ⑥ パスポート/ビザの確認
- ⑦ 航空券手配者の協議
- ⑧ 役員と他同行者の役割協議
- ⑨ 現地セーリングコンディションや治安等情報収集
- ⑩ 工具等現地持込分担

3. 今後のスケジュール

① 各大会エントリーへの対応 IODAホームページ

ワールド ヨーロッパ アジアオセアニア

② ナショナルチーム合宿の参加申込(2019.4.6まで) 2019.4.27-29 蒲郡海陽ヨットハーバー

・各チームにてサポートボートを確保(マークおよびアンカーを各チーム最低2セット準備) ・選手事前課題あり

③ JODA 連絡担当者に JODA 提出資料を送信(下線は早急・必須)

・チーム名簿 ・役員認定申請 ・練習計画、予算書 ・ユニフォームサイズ表(Tシャツ,ポロシャツ)

・参加者名簿、行程表 ・学校派遣願い ・レース派遣に関する確認書 ・同意書 など

④ 事後(レース終了後1ヶ月以内提出)

・帆走指示書 ・成績表 ・チーム同行者報告書 ・選手報告書 ・決算書 ・イヤープック用原稿など

※報告書等、事後の取りまとめのご苦勞は承知していますが、次に続く選手達の為に提出をよろしくお願いします。

(添付 / 参考)

大会について

1. 日本代表です。Team JAPAN として、節度ある行動を。
2. 大会エントリー費は、公式期間中の宿泊、食事(3食)が含まれます。OPとサポートボートのチャーターは別料金。早期到着は別料金、海上に出る選手とコーチは保険加入が義務付けられます。NOR 詳細確認。
3. 大会公式期間中のサポートボートは、1艇を2カ国でシェア。1チーム1名(コーチ)NOR 確認
ガソリン代はシェア国と相談して負担。
4. 宿泊の部屋割りは、大会がコントロール。国別、男女別、詰め込まれることもあり。
5. プラクティスレースがありますが、まじめに最初から最後までレースする国は少ない。
6. 大会期間中の中間に予備日があります。近隣の観光を斡旋してくれる場合があります。
7. 審問は英語で行われます。役員が通訳として選手同席できる場合があります。日本国内の大会よりも数多くのプロテストが出されますので、審問の流れやしっかり主張できるよう準備。
8. 開催国の情報、外務省の渡航情報など情報収集を。

チーム構成について

9. 役員:一般的に監督、コーチ、国代表の3名をエントリー。選手と役員で JAPAN チームとして扱われる。
10. IDカードがある場合は、入場に ID 提示が必要です。IDカードは厳重に管理のこと。
11. 役員には、RRS、OP クラスルールに一定の理解のある方が適任。
12. 役員も理事会で認定します。NT 合宿までに申請。
13. 大会では、英語が公用語です。中学程度の会話力と積極性があれば平常時は OK。
14. サポーターホテルは、各自手配。大会が斡旋により優遇の場合あり。

交通機関について

15. 往復の航空チケットはチームで手配し、不測時のためにもチームごとに行動。
16. 空港からの送迎がある場合があります。到着時間をできるだけ揃えて対応。NOR 確認し申込。
見知らぬ地での事故を避けるためにも、できるだけ大会側の送迎方法か、公共の交通機関を利用。

ユニフォームについて

17. 例年、キャップ、ポロシャツ、Tシャツを JODA 浅野会長より支給頂いています。(内容不明)
その他チームでのユニフォーム等は各チームで手配。

役割分担について

18. 過去の以下例を参考にチームで分担

大会公式同行者	: コーチ、監督、国代表(大会によって異なる)
大会同行者(サポーター)	: 父母兄弟等
国内会計	: 現地同行者でなくても可能
現地会計	: 現地同行者
JODA連絡係り	: 現地同行者でなくても可能
大会連絡係り	: 現地同行者でなくても可能
交通宿泊連絡係り	: 現地同行者でなくても可能
ホームページ係り	: 現地同行者でなくても可能
ユニフォーム・交換品係り	: 現地同行者でなくても可能

・コーチ(公式同行者)

父兄がするか、第三者に依頼するか、どちらでも可。コーチミーティング、海上コーチング(他国とボートシェア)、審問同行など、英語力要。ワールドチームは JODA が選任。

・監督(公式同行者)

チーム責任者。安全、無事に遠征を計画、指揮、実行。観覧艇に優先乗艇、公式レセプション(正装のカクテルパーティー)に参加などあり。

・国代表(公式同行者)

ワールドとアジアは総会に参加いただき、帰国後、議事を JODA に報告。観覧艇に優先乗艇、公式レセプション(正装のカクテルパーティー)に参加などあり。

・同行者(サポーター)

選手と同じホテルに宿泊できない可能性あり。ハーバーとホテル間のシャトルバスもサポーターは後回しにされる可能性あり。現地役割をチーム内で事前に十分確認。協力してチーム全体のサポートを。

チーム役員の指揮に従って、勝手な行動、我が子への過度なサポートは極力控えることを推奨します。

・会計

予算作成、事前集金、支払い、外貨両替、国内合宿、JODA 立替金、現地事前送金、最終精算、決算報告まで。

・JODA連絡係り

主に出発前のメール連絡が頻繁(ほぼ毎日)にできる方が適任。

・大会連絡係り

E-mailの英語力のある方で同行者がベター。NOR和訳、エントリー費、チャーター艇、パーティー、IDカード申請(顔写真添付要)

大会指定エージェントとの連絡、前泊、後泊、オプションツアー、空港～ホテル送迎、

ホテル部屋割り、ホテル～ハーバー交通手段、現地周辺調査(ショップ、病院、交通手段、公的機関等)

・ホームページ係り

興味のある方、経験ある方が適任。選手写真、経歴など収集して掲載。現地レポートが掲載できるように。

FACEBOOK などのSNSを使って現地速報、バルクヘッドマガジンへの記事投稿など、積極的な情報発信を。

・ユニフォーム係り

JODA支給品: サイズの、確認、選手着用品 + 交換品、ロゴデザイン、選定、サイズ確認、手配

JAPANライジャケ、Tシャツ、ポロシャツ、ボタンダウン、短パン、他

選手交流交換品の小物として、はちまき、せんす、ステッカー、など

開会式、閉会式後に公式パーティーがあります。女性は浴衣を持参されることが多いようです。

・現地持参品係り

リスト作成、大会お土産、共通備品用意(国旗、国歌CD、工具、予備機装品、ボイド管、等)、補食

安全確保について

19. 外務省の海外安全ホームページや現地日本大使館の情報を入手し、安全確保に努めて下さい。

・危険情報が発表された場合、チームで参加可否を検討し、JODA と協議。

過去トラブル事例について

20. 以下の事例や過去NT帰国後レポート(JODA ホームページに掲載)も参考にして準備を進めてください。

・選手急病

発熱、頭痛、腹痛は良く聞きます。保護者同行していない選手の場合は、現地病院の受診可否、処方薬の服薬可

否の方針など、出発前に確認。アレルギーなどについてはできるだけチーム共有を。

・盗難

OP 艀装品、財布など貴重品の盗難例あり。日本国内の治安、習慣とは違います。

・ロストバゲージ

トランジットでの荷物紛失可能性。セールはボイド管収納で預けと予備をたたんで機内に分散する例あり。

・意見相違

現地にて長期間に渡り一緒に行動するため、意見相違は必ず発生します。出発前の NT 経験者への聞き取り、現地でのチーム協力しての問題解決など臨機応変に対応を。

以上

(添付 / 別紙)

ナショナルチーム連絡先アドレス

